

平成21年度 モンゴル国家統計局支援事業の報告

当財団は、モンゴル国家統計局（以下、MNSO）との間で政府統計の分野において交流・協力をを行うため、平成17年9月8日に3ヶ年の協力協定を締結した。

この協定の要旨は、以下のとおりである。

- ① 毎年1週間程度、MNSOから職員を招聘し国内研修を行うこと
- ② 毎年1週間程度、当財団から視察団をモンゴルに派遣し、MNSO側の要望に沿ったテーマによるセミナーの開催と意見交換等を行うこと
- ③ 政府統計の分野の進展に関する情報交換を随時行うこと

協定締結の経緯と詳細については、本誌平成17年12月号（2～14ページ）を参照されたい。

MNSO局長来日、新協定調印式及び国内視察

協力協定の締結から3年が経過した平成21年1月に、期間の延長等を定めた新協定の締結を予定していたが、当時のジャンバツェレンMNSO局長が来日直前に交代（前年10月までの任期で、後任人事が統投を含め未定であった）となったため、延期となっていた。

メンドサイハン(Mendsaikhan SONOMTSEREN) MNSO新局長が、平成21年5月31日～6月3日に来日し、新協定調印を行うとともに、国内視察を実施した。なお、同局長の来日に当たっては、オユンチメグ（Oyunchimeg LUVSANDORJ）同令夫人及びヤラルト（Yalalt GANBAT）同局国際統計課職員もご同行した。

新協定には、本事業をさらに3ヶ年延長することを規定したほか、上記①～③の規定に加えて、②のセミナーを地方職員がより多く参加できるように地方でも開催すること、また新たに④協力を広げるためのJICAなどの政府間プロジェクトの実現を目指すよう努力することを盛り込んだ。なお、本事業は政府間プロジェクト等が実現すれば、その時点で発展的に解消することとしている。

調印式は、6月2日、明治大学リバティタワー 岸本辰雄記念ホール（東京都千代田区）において行われた。当財団役員及び職員のほか、明治大学副学長 勝氏を始めとする明治大学のモンゴル関係研究者の立ち会いのもと、



← 新協定の調印式にて、出席者とともに
↓ メンドサイハン局長から記念品を受け取る小玉会長



来日スケジュール

5/31(日)	来日 当財団主催歓迎夕食会
6/1(月)	国連アジア太平洋統計研修所訪問(ダバスーレン所長表敬)
	総務省統計局訪問(川崎局長表敬)
	(独)統計センター訪問(中川理事長表敬)
6/2(火)	当財団視察
	新協定調印式
	小玉会長主催歓迎昼食会
	東京タワー内とうけいプラザ見学
6/3(水)	帰国

メンドサイハン局長と小玉正任当財団会長により新協定への署名がなされた。

短い滞在ではあったが、メンドサイハン局長は、総務省統計局 川崎局長、(独)統計センター 中川理事長、国連アジア太平洋統計研修所 ダバスーレン所長の表敬及び各機関の視察等も行った。

第4回モンゴル統計セミナー開催等

平成21年6月29日～7月6日の8日間、統計セミナーを開催するため、当財団の視察団がモンゴルを訪れた。視察団は当財団理事長

伊藤彰彦、参与 中川雅義、研究開発第一部長 近藤登雄の3名で構成した。

統計セミナーは、昨年までは、ウランバートル市のMNSO庁舎内で、主に中央統計職員を対象に行ってきたが、新協定にも規定したとおり、今回は地方職員の参加を容易にするため、初めての地方開催とし、ウランバートルから北西へ360kmのオルホン県エルデネット市で行うこととした。エルデネット市は銅の採掘・精錬で成り立つモンゴル第3の都市であり、平成19年に日本研修で統計部長エルデネチメグ女史が来日したり、平成20年には当財団からの視察団が訪問したりするなど、本事業において関わりが深くなっていた。

今回のエルデネット訪問は、車で片道5時間の長旅であったが、MNSO職員数名のほか、メンドサイハン局長や日本在住でモンゴル帰郷中であったダバスーレン国連アジア太平洋統計研修所長もご同行した。

セミナーは7月2～3日の2日間、エルデネット市郊外のEMCセレンゲホテル(銅採掘・精錬会社の保養所)で行われ、オルホン県、ダルハン県、ブルガン県、セレンゲ県の4県

↓エルデネットでの統計セミナーの様子



↑ウランバートルを早朝に出発したため、途中、小川の傍で朝食

及びMNSOから幹部職員や統計職員など24名が参加した。

セミナーは次のような構成で、当財団の講師による講義のほか、MNSO統計企画調整部長によるモンゴルにおける政府統計への取組みに関する説明も行われた。

「政府統計概論」

(講師：伊藤彰彦 当財団理事長)

「日本の2010年国勢調査の準備状況」

(講師：中川雅義 当財団参与)

「国勢調査に基づく標本調査体系」

(講師：近藤登雄 当財団研究開発第一部長)

「政府統計の質と範囲の向上に向けた取組み」

(講師：ガンバートル MNSO 統計企画調整部長)

視察団は、このほかMNSO及びオルホン県知事表敬、統計課訪問を含むモンゴルの統計事情視察及び意見交換をするとともに、在蒙日本国大使、JICA事務所長を表敬し、本プロジェクトのJICA事業等への発展の可能性について意見交換を行った。このほか、明治大学の要請でモンゴル国立大学学長を表敬し、大学間の交流の橋渡しをした。

訪蒙スケジュール

6/29(月)	出発ーウランバートル到着
6/30(火)	MNSO幹部との打合せ
	モンゴル政府統計の取組みについての概説 (ゲレルト・オド第一副局長)
	ゲレルト・オド第一副局長主催歓迎昼食会
	在蒙日本国大使表敬
	モンゴル国立大学経済学部幹部訪問
7/1(水)	JICAモンゴル事務所長表敬
	当財団主催夕食会
	移動
7/1(水)	オルホン県訪問 (オユンバット知事表敬)
	オユンバット知事主催昼食会
	エルデネット鉱山・市内視察
7/2(木)	統計セミナー閉会式
	講義「政府統計概論」 講師：伊藤彰彦
	講義「日本の2010年国勢調査の準備状況」 講師：中川雅義
	合同夕食会・懇親会
7/3(金)	講義「国勢調査に基づく標本調査体系」 講師：近藤登雄
	講義「政府統計の質と範囲の向上に向けた取組み」 講師：ガンバートル
	統計セミナー閉会式
7/4(土)	移動
7/4(土)	MNSO幹部との意見交換・打合せ・夕食会
7/5(日)	メンドサイハン局長主催送別昼食会
7/5(日)	テレルグ国立公園視察
7/6(月)	帰国

協定書 (平成21年6月2日調印)

